

平成29年大発会理事長挨拶

平成29年1月4日

皆様、明けましておめでとうございます。平成29年大発会にあたりまして一言ご挨拶させていただきます。

昨年、北海道は未曾有の台風被害に加え、暮れには50年振りの記録となる積雪で交通網がマヒ状態となるなど災害にも翻弄されましたが、幸い年末年始は比較的穏やかに推移したようですが皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。



(小池理事長)

本日は、原田北海道財務局長をはじめご来賓の方々、関係者、会員証券会社と女性社員の皆様にも晴れ着姿でお越しいただきまして、会場に花を添えていただいております。誠にありがとうございます。

ご承知の通り経済につきましては、世界的には今年は中東、EU、中国、アメリカとそれぞれに不安定要因を抱え、どこが火種になって混乱が起きてもおかしくない大変不確実な情勢が予想されます。特に米国のトランプ新政権がいよいよ今月から発足しますが、その性格や政策がマーケットに理解され浸透するまで当面の波乱も予想されますが株式市場には追い風という声もあります。日本国内に限ってみますと、安倍内閣と黒田日銀は安定し大きな不確実要素はないため、この海外要因に如何に対処するかに懸かっているというような年になると思われれます。

また、北海道につきましては、昨年の台風被害からの完全復旧が待たれますが、2月に開催されます冬季アジア札幌大会も一つの契機として、近年続いておりますインバウンド観光需要の拡大を取り込んで、人手不足やエネルギー価格面にやや不安はありますが地域経済は安定的に推移するのではないかと予想しております。ただ、起きる事象とマーケットの反応は往々に一致しないものであり、最近の変動も大きくなっており過剰反応には注意が必要と考えております。

さて、本日は、皆様ご承知と思いますが、北海道日本ハムファイターズ選手会長の 大野奨太 さんをゲストにお招きしております。昨年の大発会では、田中賢介選手に新しく作成いたしました札証の鐘の打ち初めをしていただきました。いずれも、当取引所の理事でもある、アインホールディングス社長の 大谷 様にご尽力いただいたものであります。お礼を申し上げます。

昨年の大発会で田中選手によって札証の鐘を打鐘していただいた際、私が願ったことのうちファイターズの優勝と札証の幸先良い取引開始という2点は満願成就しました。昨年は札証の市場取引はその後にも順調に推移し今年度も好成績で決算を迎えるような状況で推移しております。また北海道日本ハムファイターズのリーグ優勝、日本シリーズ制覇により、北海道が元気付けられ、経済効果は200億

円を遥かに超えるという調査結果もあります。北海道経済のためにも、今年の大野選手に打鐘を願って止みません。札証の鐘は大変ご利益のある鐘だと自画自賛している次第です。

ただこの札証の鐘はもともと札証に新規上場する北海道企業の経営者にスタートにあたって鳴らしてもらうために作成いたしました。その意味で今年は大野選手に打鐘していただく際に、私としては大野選手の活躍でファイターズが連覇達成されるということを祈願するとともに、昨年叶わなかった札証での新規企業の上場達成が多数あることを祈願し、合わせて北海道経済の発展につながればと思っています。

本日ご参加の皆さんも、ご利益のある札証の鐘として、大野選手が打った鐘が鳴っている間にそれぞれ願い事をしていただければと思います。大発会にあたりまして、一言ご挨拶させていただきました。本年もよろしくお祈りいたします。



「札証の鐘」打ち始め

「昨年の賢介さんに続き札証の鐘を鳴らした年は素晴らしい一年になると言うジンクスを続けて行ける様願いを込めて務めます」

北海道日本ハムファイターズ
大野 奨 太 選手